



2023年度

藍畑だより

第15号

2023.9.1(金)

発行責任者 上萩琴美

自然との共存

夏休みが終わり二学期が始まりました。子どもたちの元気な声で、学校が活気に溢れています。今夏は、気象庁の異常気象分析検討会の中村尚会長が8月28日の記者会見で「今年の気温は歴代と比較しても圧倒的に高い。夏全体で見ても異常だった」と述べたほどの猛暑でした。

運動会練習も、WBGT(暑さ指数)31を越えた時は運動を中止し、水分補給・休憩等の時間を確保して熱中症対策を行います。4年ぶりに復活する表現などの練習時間が十分取れないことも想定され、運動会本番までに仕上がらないことも考えられますが、温かい目で見守り、声援をいただければ幸いです。

夏休み中に、校舎内でカメムシを数匹見かけました。通常、気温が下がる9月頃からカメムシが多く発生する年は大雪になる頻度が高いという言い伝えがあります。どうか、穏やかな温帯に属する日本列島の自然が壊されず、四季折々の自然を愛でることができ環境保全を…と願うばかりです。



【感謝!!!】



例年にない残暑厳しい中、早朝より奉仕作業にご協力いただき、ありがとうございました。

4年ぶりの作業で、保護者の皆様にはご負担をおかけしましたが、おかげさまで、美しく整った環境で、子どもたちの二学期の学びをスタートさせることができました。11月17日に予定されている徳島県小学校教育研究会外国語研究大会の会場校としても、できるだけ現状を維持していきたいと思っています。

本当にお世話になりました。

夏休み後半にはマーチング練習も始まり、運動会での演奏初披露への意気込みが感じられます。3月末で退職した前用務員の岡田さんも陣中見舞いに来てくださいました。

暑い中、体育館での練習は大変ですが、自分の動きを確認したり、お互いの音を聞き合ったりして完成を目指しています。

【金管バンド練習(後半)】



【先生再紹介】



7月20日の終業式に一旦お別れした清水育子先生が、本日、再び藍畑小学校に赴任しました。しかも、二学期からは授業だけでなく、一日中ご勤務くださいます。行事の多い二学期・まとめの三学期と、たくさんの充実した時間を一緒に過ごすことができると楽しみにしています。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

夏休み中の教員研修

8月17日(木)午後に、中央公民館で「名西郡教育会教育文化講演会」が開催されました。今年度は本校が郡教育会の事務局をしており、「神山まるごと高専」の松坂孝紀様に講師をお願いしました。

ここのところ、活動が新聞紙上でもよく取り上げられている高専ですが、立ち上げまでの苦労や経営理念、求める学生像等を拝聴し、各校での教育に生かせることのできる内容が詰まったお話で、有意義な時間となりました。次号では、講演内容について少し紹介します。



藍畑小教育

□ 学校教育目標

『心豊かで、たくましい子どもの育成』-自ら気づき、考え、実行できる子どもの育成-

□ めざす児童像

「あ」 あいさつをする子

「は」 はげましあって がんばる子

「い」 いじめをしない やさしい子

「た」 たくましい子